

由利本荘市立東由利中学校



# だいやま 台 山



学校HP

【学校教育目標】  
清らかにたくましく  
学校だより  
NO22  
令和6年9月5日(休)

## 芸術鑑賞教室でミュージカルを堪能

4日(水)に全校生徒が観覧した芸術鑑賞教室は、由利高校の民謡部を舞台としたミュージカルでした。

役者さんの豊かな歌声と演技力を軸としながら、音楽や照明による迫力ある演出など、あっという間の90分となりました。「青春(アオハル)するべ!」というタイトルの通り、青春期における登場人物の悩みや葛藤に共感したり、失敗をみんなで乗り越えようとする姿に感動したりと、親しみをもって鑑賞できたものと思います。また、身近にある高校が舞台ということもあり、設定や言葉などは親近感を感じるものでしたし、演者のお二人は、実際に由利高校民謡部のご出身ということでした。

最後は、会場の中학생に向けて、それぞれの未来に向かって突き進んでほしいとのメッセージで締めくくられ、出演者に惜しみない拍手が送られました。

芸術や読書の秋と言われますが、本物に触れたり、自分の知らない世界と出会ったりすることは、教養や想像力を身に付けることにつながります。感受性豊かな中學生なら、なおさらのこと心耕されることが多いはずで。ぜひ、この期に様々な芸術や本に親しんでくれたらと思います。



## 本荘由利中学校英語暗唱弁論大会



8月30日(金)に西目公民館シーガルを会場に英語暗唱弁論大会が行われ、本校からは3年生の古関\*\*さんと佐々木\*\*さんが出場しました。

夏休み前から準備を進めて来た2人は、夏休み中も熱心に練習を重ねていました。その間、ALTのソフィー先生やジェニファー先生からもネイティブな発音の指導を受けるなど、より自然な表現を目指して取り組んでいました。

本番では、市内のALTや英語科の先生方が見つめる中、2名ともこれまでの成果を存分に表現できたようです。

会場では、26名の弁士の英語力にも触れることができ、同じ中學生としてよい刺激を受けたことでしょう。2名ともよく頑張りました。

【暗唱の部】GOOD賞  
3年 古関 \*\*  
『I Have a Dream』

【弁論の部】GOOD賞  
3年 佐々木\*\*  
『Agree to Disagree』



## 部活ごとにあいさつ運動を実施中

7月実施の学級討議を受け、総務部から部活動ごとのあいさつ運動の提案がありました。早速、今週の朝から、玄関ホールにて、引退した3年生も加わって部活単位での朝のあいさつを行っています。

お互いに明るいあいさつを交わしながら、1日のスタートを明るい気持ちで迎えらるように取り組んでいます。

- 2日(月) バドミントン部
- 3日(火) 卓球部
- 4日(水) バスケ部・無部
- 5日(木) 吹奏楽部
- 6日(金) 野球部



## 学校だより電子送信のお願い

社会的にデジタル化が普及している状況を踏まえ、これまで紙面にてお配りしていた学校だより「台山」を電子データでの配布に移行したいと思っております。理由は以下の通りです。

- 省資源による環境への配慮
- 情報伝達の即時性と効率化
- 時間・場所を問わず閲覧可能
- カラーによる写真の鮮明さ
- 配布忘れや遺失防止

また、小学校で先行実施し、好意的な意見が多かったことから、連携の観点からも実施していきたいと思っております。

もし、何か不都合がある場合は、遠慮なくお申し出ください。保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

お願いします



なお、データでの送信は、次号23号より開始を検討しておりますのでご了承願います。

## 遠藤章博士を偲ぶ会に参列



9月1日(日)10時より有鄰館において、「遠藤章博士を偲ぶ会」が行われました。会では、遺族や関係者など約50人が参列し、遠藤章博士との別れを惜しみました。

東由利中学校からは、小野寺\*\*さん(2年)と卒業生である伊東\*\*さん(\*\*大学4年)が追悼の言葉を述べました。健真さんは、秋田県教育長や由利本荘市長をはじめ名だたる方々に続いてのスピーチでしたが、落ち着いた態度で「博士のような努力を続け、成果を成し遂げる大人になりたい」といった内容について述べました。大変立派な態度でした。

また、会の中では、東由利中学校の生徒が、定期的に顕彰碑の清掃を行っているということについても触れられる場面がありました。これからも、博士の功績や教えを引き継ぎながら心を込めて清掃活動が続けていきたいと思っております。



## スマホとのよりよい付き合い方

講師の神浩平さんは、東北大学で脳科学の研究をされており、スマホの危険性についてデータ分析に基づいて説明いただきました。スマホ所持の低年齢化が進み、今や幼児から所持しているケースも増えてきているようです。本校では、夏休み明け集会の場で、下記のような①スマホ使用のリスクを知る②スマホを上手に活用するの2点について伝えたところです。

### ①リスクを知る

- ・脳は使えば育ち、使わないと衰える。
- ・ゲームをしている時の脳の(考える・記憶・集中・やる気)は働いていない。
- ・スマホはTVやゲームより悪影響が大きい(終始使用、集中力低下、満足できなくなる等)。
- ・3時間以上使っていると、どれだけ勉強、睡眠時間をとっても成績は上がらない。

### ②上手に活用する

- ・スマホ使用が1時間未満の人は自己管理能力が高い。
- ・他律→自律  
自分が守れる範囲からスタート
- ・何でスマホ?  
暇、やることがないから……
- ・電源を切る。目に入らないところに置く(スマホしながらの3時間以上の勉強は30分の学習効果しかない)。

8月中に行われた研修会で、スマホが与える影響やよりよい付き合い方についてお話を聞く機会がありました。

講演では、家庭での約束やルールを決めて、子どもの自己管理能力を育てることや、一番身近な大人が範となることの大切さについても触れていました。

ご家庭でも、今一度、使い方やよりよい付き合い方について話題にさせていただけたらと思います。